

●NTTソフトウェア

GPSケータイを活用した情報共有システム 「ケータイフィールド／GIS」

音声情報を含むマルチメディアによるリアルタイムな情報共有を可能に

生活やビジネスに欠かせないコミュニケーションツールとして進化を続ける携帯電話。NTTソフトウェアでは、携帯電話の基盤技術や最先端技術の開発によって培われた開発力に加え、モバイルと基幹システムや社内情報システムと連携した豊富なソリューションの提供実績を活かし、携帯電話上のビジネスアプリケーションパッケージである「ケータイフィールド」を提供している。

「私どもでは、お客様のご要望に応じたカスタマイズを行って、様々なビジネスシーンでのコスト削減、効率化、お客様満足度向上に貢献しています。」

(モバイルソリューションチーフエキスパート 庄司修氏)

同社では、「ケータイフィールド」シリーズの一つとして、GPSケータイを活用した情報共有システム「ケータイフィールド／GIS」を提供している。

ケータイフィールド／GISは、GPS携帯電話からレポート情報を送信し、PC上で閲覧する情報共有システムだ(図1参照)。

「レポート内容は、テキスト情報、音声情報、画像情報、GPS情報等の各メディアに対応しています。また、送信されたレポートは、PC側



NTTソフトウェア(株) SI & NIソリューション事業グループソリューションSE部門
右:モバイルソリューションチーフエキスパート 庄司 修氏
左:モバイルソリューションチーフエキスパート 木下 麻里氏

で地図上にアイコン表示されるため、位置関係の判別が容易です。」(モバイルソリューションチーフエキスパート 木下麻里氏)

以下に、ケータイフィールド／GISの主な特長を列記する。

①多彩なメディアを提供できるレポート情報

テキストデータだけでなく、携帯のカメラで撮影した写真や音声による伝言メッセージといった複数の形式で現場の状況を位置情報とともにリアルタイムに報告することができる。

②カメラ付きGPS携帯電話の利用による導入コストの削減

写真や音声、位置情報は携帯に搭載されている機能を使用するため、デジタルカメラやGPS機器、通信機器などの特別な設備を新たに導入する必要はない。そのため導入コストの削減や短期間での導入が実現できる。

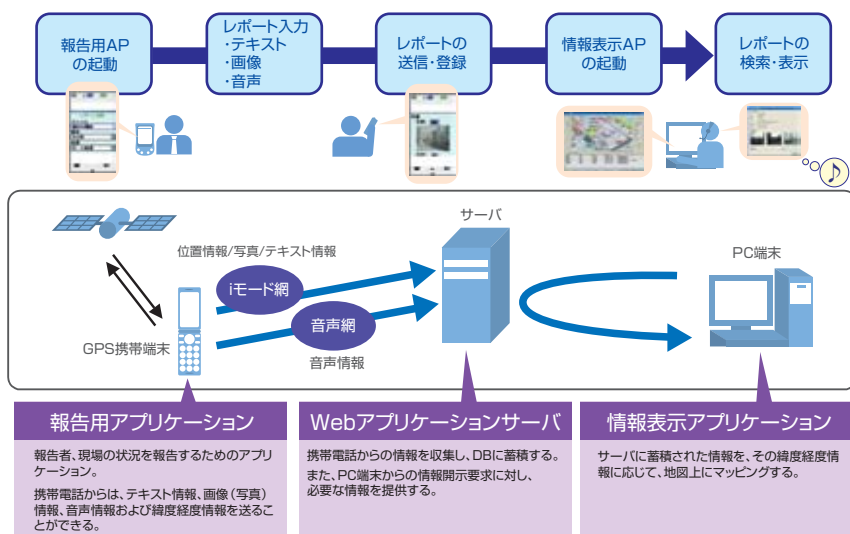


図1 ケータイフィールド/GISの機能概要とシステム構成

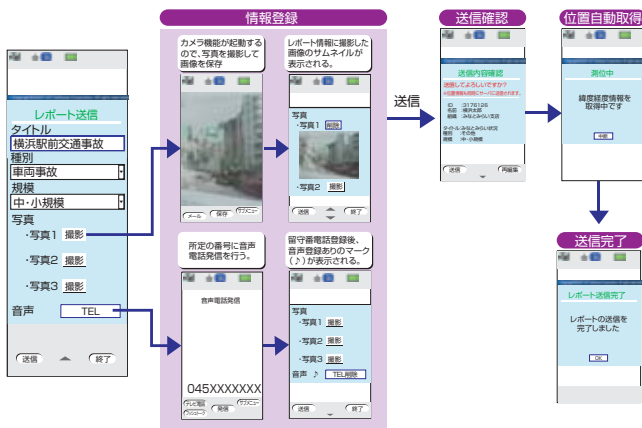


図2 画面イメージ（携帯：報告用アプリケーション）

③地図を利用した直観的で理解しやすいインタフェース

報告用アプリケーションは携帯アプリ（iアプリ）で提供される。報告用アプリケーションは、送信者情報の登録更新、テキスト情報作成、画像情報作成、音声情報登録、位置情報取得、レポート情報送信といった機能を実装している。送信者情報を事前登録できるため、操作者が報告する情報は必要最小限の項目のみで済む。これにより、外出先でも簡単に少ないオペレーションでレポートの作成・登録が可能だ（図2参照）。

④携帯アプリを利用した簡易なオペレーションの実現

情報表示アプリケーションとして、地図操作、レポート情報検索、地図マッピング表示、レポート情報・送信者情報の一覧表示、レポート情報詳細情報表示、音声情報再生、画像情報拡大表示、画像情報保存、画像情報印刷といった機能を実装している。GPS携帯から登録されたレポートは情報表示アプリケーションにより地図上にアイコン表示され

るため、レポート情報の位置関係をすぐに判別できる。地図の操作やレポート情報の表示などは、直感的なユーザーインタフェースによって簡単に操作できる（図3参照）。また登録された写真を表示／印刷／保存することにより、業務での再利用も可能である。

NTT東日本-埼玉への導入実績を踏まえ、様々な分野への適用を提案

ケータイフィールド／GISの代表的な導入事例として、NTT東日本-埼玉の災害対策室があげられる。NTT東日本-埼玉は、埼玉県内の電気通信インフラを維持・管理するという重要な任務を負っている。その中でも災害対策室は、地震・台風などの自然災害だけでなく、交通事故による電柱やケーブルの損傷などにも対応する部署である。電柱だけでも約40万本ある埼玉県内の通信設備をすべて正常に維持管理するためには、現場の状況を正確に把握することが不可欠だ。NTT東日本-埼玉の災害対策室では、2007年3月末に、ケータイフィールド

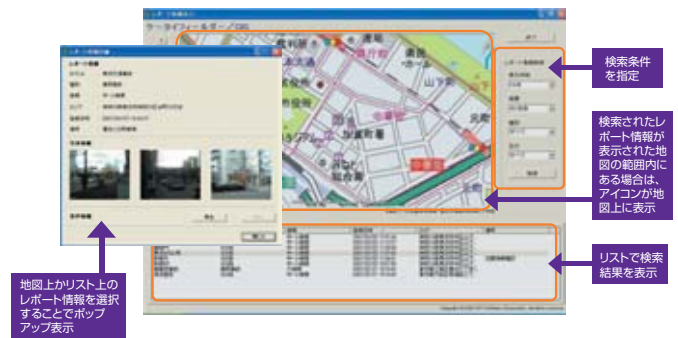


図3 画面イメージ（PC：情報表示アプリケーション）

／GISをカスタマイズした「災害等情報流通ツール（SiteEye）」を導入、通信設備の障害状況をGPSケータイで正確に把握し、迅速な対応と情報共有に活用している。

NTT東日本-埼玉では、事故や災害以外の現地調査や宅内の故障などへの対応にも「SiteEye」の活用を広げることを検討している。

NTTソフトウェアは、NTT東日本-埼玉の導入実績を踏まえ、最も手軽で身近なツールである携帯電話を活用したマルチメディアによるリアルタイムな情報発信・収集・閲覧システムとして、ケータイフィールド／GISによる防犯パトロールサポートシステムや市民による安全地域マップ作成システム、自治体における非常時職員参集システムや災害情報収集システムなどの安心・安全ソリューションの提案活動を積極的に展開している。

お問い合わせ先

NTTソフトウェア(株)
 SI & NI・ソリューション事業グループ
 ソリューションSE部門
 TEL：045-212-7529
 E-mail：u-business@cs.ntts.co.jp
 URL：http://www.ntts.co.jp/products/ktai_gis/